

会報 No. 19 (第 1572 回) 2022 年 1 月 26 日 (水) 18:30~

第 2820 地区 **新井和雄ガバナー** 地区スローガン “Think Globally Act Locally”
(地球の未来を思い地域社会に貢献しましょう)

2021-2022 石井秀明会長スローガン 「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」

本日のプログラム

◆クラブ協議会(4) 前期事業報告、後期事業計画

クラブ会員組織委員会

委員長 橋本 壽郎

各委員長 植野 重男(会員増強)、伊藤 幸司(ロータリー情報)

活動方針

会員組織委員会は、会員増強と維持を最大の責務としています。会員の育成を通して退会防止に努めて参ります。石井会長スローガン「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」を目標に活動して参ります。

前期事業報告

コロナ禍でもあり思うように活動できませんでした。

後期事業計画

引き続き更なる会員増強と退会防止に努めてまいります。

会員皆様のご協力をお願いいたします。

会員増強委員会

委員長 植野 重男

副委員長 浦澤 精乗

活動方針

ロータリークラブの運営を円滑に更には活性化を図るために、ロータリーの財産である会員の増強が必要不可欠であります。

ロータリーは、「違う考えや価値観を持つ人と付き合うことが出来、学び多き場所である」事を説明し増強を図り、退会防止にも力を注ぎ活動をします。

前期事業報告

1. 本年度は、地区目標 2000 名の復活を目標で 2 名以上に対し、クラブ会長方針に沿って純増 3 名以上目標とします。上期結果は、5 名入会、1 名退会の純増 4 名となりました。
2. 退会防止に努め、若い世代と女性会員の入会促進を目標としました。残念ですが 1 名の退会者がありました。若年の方の入会がありました。
3. 会員増強セミナーに参加 (6/20)
4. 会員増強の出前卓話 (地区クラブ奉仕委員) を実施 (8/20)

後期事業計画

1. 前期出来なかった会員増強家庭集会を企画します。
2. 前期に沢山の新会員入会に満足せず、後期も会員増強に励みます。
3. 会員増強は増強委員会だけで進めるのではなく、会員皆様のご協力無では増強出来ませんので、下期も会員皆様のご理解とご協力をお願い致します。

ロータリー情報委員会

委員長 伊藤 幸司

副委員長 植野 重男

活動方針

当委員会はロータリーの歴史を学び、ロータリーの目的やクラブの活動に関する情報を正しく伝えながら、石井会長の本年度テーマ『今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう』を実施するために、温故知新を意識しながら会員全員で力を合わせ、クラブライフが楽しいものになることを目標として活動をします。

前期事業報告

1. 新入会員向けにロータリーの歴史を学ぶことを目的としたロータリー100年の歴史のビデオは準備をしましたが、一同に集合することが困難であり未実施でした。
2. 入会 5 年未満の会員を対象とした親睦会を、親睦委員会と合同で「1-5 会」として実施することを事業計画にしましたが実行できませんでした。また他クラブとの交流を深める為にメイクアップとしての例会参加には数名の新入会員が出席しました。
3. 新入会員には入会のしおりとして、「これだけは知っておきたいロータリーの基礎」等を配布準備しました。

後期事業計画

1. 中村パストガバナー及び経験豊かな会員と新会員との交流会を企画します。
2. 親睦を深める為に親睦委員会と合同で「1-5 会」を実施します。また引き続き他クラブの例会参加を依頼します。

クラブ管理運営委員会

委員長 猪股 真純
各委員長 海野 宏幸（出席）
目黒 伸也（親睦活動）
厚見 和則（プログラム）
富永 康修（ニコニコ）

<前期事業報告>

前年度に続きコロナ禍での活動を強いられました。各委員会が工夫を凝らして、活動の実施に努めました。

ハイブリッド例会の定着化など新たな取り組みを行う一方で、コロナ感染状況を睨みながら感染拡大防止対策を的確に実施して親睦活動を行うことができたこともコロナ禍における大きな成果と考えています。

<後期事業計画>

厳しい環境が下期も継続することが予想されますが、引き続き会員各地の英知を集め、充実したクラブ活動ができるよう取り組んでまいります。

皆さまのご協力をよろしくお願いいたします。

出席委員会

委員長 海野 宏幸
副委員長 植野 重男
委員 木村 正人

前期事業報告

- ① 8, 9月はコロナ感染症の拡大で、ZOOM参加を呼びかけた事もあり、例会場参加者を限定
- ② その後の出席率アップにブレーキがかかったのか？
- ③ 出席報告は担当者3名で1ヶ月ごとの報告としました。
- ④ 前半の出席率は90%目標に対し、84.35%
- ⑤ WEB会議による家庭集会もメイクアップにカウントしました。

後期事業計画

- ① 例会出席率はメイクアップを含めて90%を目標とする。
- ② 例会前の全会員への予告メールをし、例会参加を促します。
- ③ 出席報告は前期通り、1ヶ月交代で担当してゆく。
- ④ コロナ第6波の危険性が拡大しており、会場にでられない方のZOOM参加を呼びかけます。
- ⑤ 年間出席率 100%の会員への記念品を贈呈する。

親睦活動委員会

委員長 目黒 伸也

副委員長 鶴田 哲男、大越 正彦

委員 橋本 壽郎、厚見 和則、小野瀬 好良、海野 宏幸、藤沢亮、
佐藤 誠、清水 陽司、木村 正人、高坂 裕二、桐嶋 健二

活動方針

2021-2022年度、親睦活動委員会は、「これまでの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」という石井会長方針を念頭に、他委員会と連携しながら“明るく楽しいクラブライフ”を推進していくことに主眼を置き新型コロナに負けない委員会活動を進めてまいります。

前期事業報告、後期事業計画

1. クラブ懇親事業

8月に計画した納涼例会は残念ながら新型コロナウイルスの影響により中止を余儀なくされましたが10月の観月例会（テラスザガーデン水戸：アトラクション マジシャン聖寿）、12月のクリスマス・忘年会（ホテルウエストヒルズ水戸：アトラクション ビンゴ大会）並びに年明けの賀詞交歓会（クリスタルパレス）は計画通りに実施することが出来ました。参加いただいた会員、家族の皆様ありがとうございました。

後期につきましては下記のように懇親会事業を計画しております。

- ① 観桜例会 4月13日 鰻亭（ご夫人同伴）
- ② 中村パストガバナー慰労会 5月18日 ホテルウエストヒルズ水戸
- ③ 会長幹事慰労会 6月29日 ホテルウエストヒルズ水戸
- ④ ノミニュケーション 1回/年（情報委員会との合同事業）

2. 記念品

- ① ご夫人誕生日 お花（3,000円）
- ② 会員誕生日 タオル（2,000円）

会員誕生日並びにご夫人、ご母堂様の誕生日に記念の品を送らせていただきました。

プログラム委員会

委員長 厚見 和則

副委員長 清宮 武雄

【前期事業報告】

1. 会長方針に基づきプログラムを作成し、四半期ごと理事会の承認を得て実施しました。
2. 各委員会委員長と協議し、適宜変更等を行いながら計画を遂行しました。
3. 毎月1回は夜の例会とし、会員の出席率向上を図りました。
4. 主な行事
 - ・ガバナー公式訪問
 - ・茨城海岸美化プロジェクト（阿字ヶ浦海岸）

- ・インターアクト年次大会
- ・35周年記念式典
- ・月間テーマに基づく卓話・新入会員卓話
- ・移動例会（観月・クリスマス）

【後期事業計画】

各委員会の計画が円滑に実行出来るよう柔軟にプログラム調整を行います。

ニコニコボックス委員会

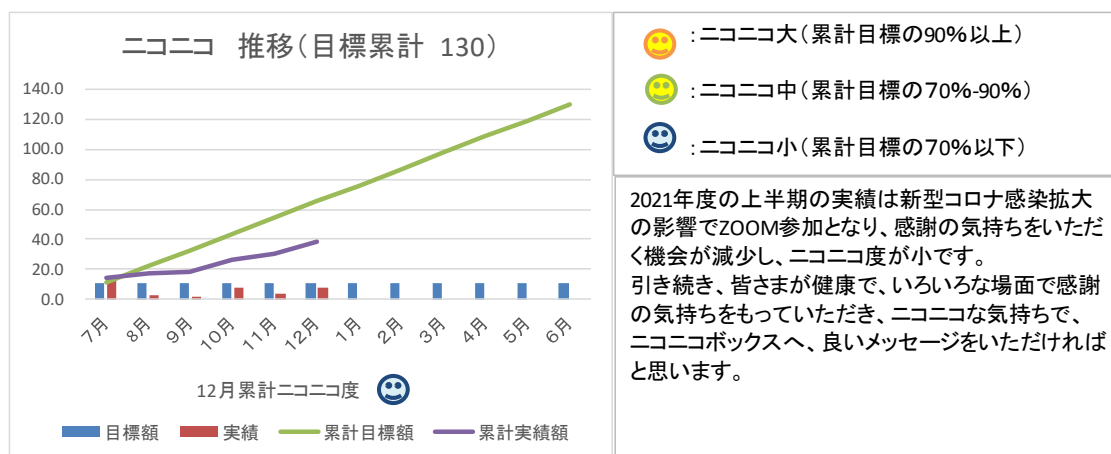
委員長 富永 康修

副委員長 海野 宏幸

委員 高橋 昭、中村 澄夫

前期事業報告

ニコニコボックスを通じて、皆様の感謝の気持ちを頂きました。前期の実績としては、以下に示す通りです。新型コロナウイルスがおさまらない状況もあり、ニコニコ度が小の状況です。



後期事業計画

後期に関しても、オミクロン株の感染拡大状況となっており、上期と同様の状況が 継続されるものと考えられます。

今年度のクラブスローガン「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」として、年間の目標金額を昨年と同様の 130 万円としておりましたが、上期の実績も加味して目標額を上期実績よりも少し上を狙い、年度合計として 90 万円として活動を進めることとしたい。後期においては、新型コロナウイルス感染がおさまらず、皆様のニコニコ度が増加することを期待します。

公共イメージ委員会

委員長 鶴田哲男

各委員長 田中宏和（広報・史料委員会）

橋本和一郎（クラブ会報委員会）

【前期事業報告】

ホームページの管理運営・史料の保管方法、クラブ会報のあり方・会員負担の軽減について、会長・幹事、各委員長及び関係者を集めて検討会を行いました。

【後期事業計画】

引き続き広報・史料、クラブ会報の効率的な運営方法を検討します。

広報・史料委員会

委員長 田中 宏和

副委員長 藤田 明英

委員 瀬谷 利雄、大部 泉

○ 活動方針

当クラブのホームページ（HP）の維持・管理を継続します。また、「ロータリーの友」誌への関心を持っていただくよう努めます。今後のクラブ運営に係る史料は、電子化して保存することを基本とします。

○ 前期事業報告

1. クラブ HP の維持・管理及び会員のメールアドレス管理を行いました。実作業は、島田幹事や橋本和一郎クラブ会報委員長等の方々にご協力頂いています。
2. 「ロータリーの友」誌への関心を持っていただくため、毎月の第一例会時に代表的な記事を紹介しました。また、公共機関に「ロータリーの友」誌の寄贈及び「ロータリーの友」英語版を東海村立図書館と那珂市立図書館に寄贈しました。
3. 今後のクラブ HP の管理について、石井会長、島田幹事、公共イメージ委員会で議論を進めています。経過については、3月23日の例会卓話で報告する予定です。

○ 後期事業計画

1. HP の維持・管理及び会員のメールアドレス管理を継続します。
2. 毎月の第一例会時に行っている「ロータリーの友」誌の代表的な記事紹介と公共機関への「ロータリーの友」誌の寄贈、「ロータリーの友」英語版を東海村立図書館と那珂市立図書館への寄贈を継続します。
3. 当クラブの奉仕活動等に関する原稿を「ロータリーの友」誌等に投稿します。

クラブ会報委員会

委員長 橋本 和一郎
副委員長 厚見 和則
委員 富永 康修、大久保 賢二

活動方針

クラブ会報委員会は、石井秀明会長の年度テーマ「今までの活動に感謝し、これからの奉仕活動を広げよう」のもと、クラブ会報発行を通じて、会員全員への積極的な情報提供を実施します。今年度においても、昨年度同様ペーパーレス化を推進します。

前期事業報告

1. 原則として、例会の前日までに会員が会報データを入手できるよう、例会毎にクラブ会報を発行しました。
2. クラブ会報のフォーマットは昨年度定型化されたものを引き継ぎ、経費がかからないよう努めました。
3. クラブ会報には、原則として前回例会の内容を掲載しました。ただし、ガバナー公式訪問等、当日の進行等の情報が必要な場合は当日の会報にそれらの情報を掲載しました。
4. 年間プログラム、3ヶ月プログラム等を適宜掲載すると共に、次回の例会案内を掲載しました。

後期事業計画

1. 後期においても、引き続き、例会毎にクラブ会報を発行します。原則として、例会の前日までに会員が会報データを入手できるようにします。
2. クラブ会報のフォーマットは昨年度定型化されたものを引き継ぎ、経費がかからないよう努めます。
3. クラブ会報には、原則として前回例会の内容を掲載します。ただし、クラブ協議会等、当日の進行等の情報が必要な場合は当日の会報にそれらの情報を掲載します。
4. 3ヶ月プログラム等を適宜掲載すると共に、次回の例会案内を掲載します。
5. 前期に試行開始した「例会予告」(例会当日の卓話要旨等を掲載したもの)については、適宜発行し、有効性を確認します。
6. 今後のクラブ会報のあり方について、引き続き検討します。

職業奉仕委員会

委員長 大貫 博光
副委員長 神代 隆
委員 伊藤 幸司

活動方針

職業奉仕委員会は、職業奉仕・社会奉仕・国際奉仕『奉仕プロジェクト』を意識した活動を目指す事を第一方針に据え、更には今出来る奉仕活動を展開します。

更には、高潔性と他者への尊重の意識を向上させる目的を果たせる新たな奉仕活動を立案、実践します。

又、四つのテストによる職業奉仕の理念の実践をし、会員一人一人が認識を拡大させる事を目指していきます。

前期事業報告

1. 四つのテストの実践

新入会員に額入り「四つのテスト」を配布

例年どおり第2例会において「四つのテスト」の斉唱

後期事業計画

1. 職場体験授業への協力

RCとして中学生には『中学生職場体験授業』、水戸農業高校生には茨城県主催の『ジュニア技能インターンシップ事業』などに積極的に協力をします。

*但し、茨城県は今年度開催に関し確認中

2. 会員卓話

プログラム委員会と協力して、職業（生業）に沿った会員卓話を企画します。

社会奉仕委員会

委員長 浅川 清司

副委員長 猪股 真純

委員 高坂 裕二、佐藤 誠

活動方針

本年度テーマ「地球の未来を思い 地域社会に貢献しましょう」のもと、この地域社会において必要とされるように、会員皆様と一緒に考え、行動し、継続していきたいと思えます。

前期事業報告

1. 地域発展支援活動

なかひまわりフェスティバル、東海まつり 中止

10月17日東海村花火大会後の清掃作業 参加

10月30日東海村秋のクリーン作戦 参加

2. 社会福祉施設支援活動

12月20日児童養護施設 チルドレンホームへクリスマスプレゼント

3. 地域環境保全活動

10月2日ロータリーの森整備

11月3日阿字ヶ浦海岸清掃 水戸農高インターアクトクラブ参加

4. 地域公共機関の支援活動

12月1日那珂市ガールスカウトへの支援 卓話、助成金

5. 国際交流協会への支援活動

12月8日なか日本語くらぶ支援、卓話、助成金

Toukai JTL 日本語くらぶ支援、卓話、助成金

後期事業計画

1. 社会福祉施設支援活動

児童養護施設若草園への支援

以上前期事業報告ですので宜しくお願い致します。

青少年奉仕委員会

委員長 清水 繁

副委員長 大越正彦

委員 藤澤 亮

新井和夫ガバナー地区スローガン、(地球の未来を想い 地域社会に貢献しましょう)

2820 地区 青少年奉仕委員会活動目標、青少年の奉仕活動とリーダーシップの育成。

2021～2022 地区方針

- ① 奉仕活動で国際社会と地域へ貢献 (ポリオ募金活動)。
- ② 持続可能な社会と地域に向けて SDGs を目指す 人材育成
- ③ ロータリー奉仕デーの参加 (海岸清掃)
- ④ 青少年交換は中止、次年度派遣生の選考とオリエンテーション。

活動計画

- ① ライラセミナーへの参加、第 42 回ライラセミナーは SDGs をテーマにハイブリッド開催を予定する。
- ② インターアクト年次大会の開催支援 (水戸農業高等学校 ホスト東海那珂 RC)。
- ③ 地域青少年のための、特別巡回指導への参加。
- ④ ポリオ根絶、街頭募金活動への参加。
- ⑤ 水戸農業高等学校、インターアクトクラブ活動報告。

新型コロナウイルス対策の影響による、活動当の変更も予想される。

前期事業報告

2021-10 月 31 日 インターアクト年次大会が、ホスト校水農会場にて無事に行うことが出来ました。

2021-11 月 3 日 水農インターアクトクラブメンバー (27 名) が海岸美化プロジェクトに参加致しました。

後期事業計画

- ① 地域青少年のための、特別巡回指導への参加。
- ② ポリオ根絶、街頭募金活動への参加。
- ③ 水戸農業高等学校、インターアクトクラブ活動報告。

インターアクト委員会

委員長 高橋 琢
副委員長 田中宏和
委員 大森龍一

【活動方針】

本委員会は、東海・那珂ロータリークラブの提唱校である水戸農業高等学校インターアクトクラブ所属生徒が、未来を見据えた秀逸した社会人になるためのサポートを行っていきます。

【前期事業報告】

- 2021年度インターアクト研修旅行（中止）
 - 2021.10.31（日）県立水戸農業高等学校 会議室・特別教室
 - テーマ「CHOOSE YOUR LIFE！」～after コロナ時代への挑戦～
- インターアクト年次大会 茨城県立水戸農業高等学校
- 「茨城海岸美化プロジェクト」（11/3）清掃活動への参加及びその他 IA（下館工業高校）との情報交換
- ライラセミナーへの参加（中止）
- IA年次大会報告会（1/12）

【後期事業計画】

- 職場訪問 職業奉仕委員会と合同で開催予定
- 活動報告会及び卒業記念品贈呈

国際奉仕委員会

委員長 藤田 明英
副委員長 高橋 昭
委員 橋本和一郎

前期事業報告

- 世界社会奉仕（WCS）
 - ・2820地区独自のWCSである「この指とまれ」事業について、下記プログラムへ協賛しました。事業名：ネパールの貧しい子供たちへの就学支援
提唱クラブ：日立RC、下館RC
- 地区セミナーへの参加
 - ・21-22年度国際奉仕委員会
 - ① 研究会 21年7月22日(木) ダイヤモンドホール（リモート参加）
 - ② セミナー 21年12月11日(土) ダイヤモンドホール（リモート参加）

後期事業計画

- ・3月2日(水)卓話 地区国際奉仕プロジェクト研究会（予定）
- ・コロナ感染防止対策を第一に、ネパールへの支援継続等の奉仕活動を実施します。

ロータリー財団委員会

委員長 浦澤 精 乗
副委員長 清宮 武 雄
委員 中井 英一郎

前期事業報告

- 1 地区ロータリー財団委員会との連携によるクラブ会員の理解促進
 - 7月17日(土) 社会奉仕・ロータリー財団合同研究会(筑西市ダイヤモンドホール)にオンラインにより出席 (委員長)
 - 11月24日(水)出前卓話地区財団資金管理委員 高島章行氏
- 2 財団寄付 地区年度目標の達成
 - 恒久基金寄付(ベネファクター): 1000ドル(1クラブ1人以上)
 - ベネファクター伊藤幸司会員より 1000ドル寄付
 - ポール・ハリス・ソサエティ
中村澄夫会員より 1000ドル寄付

後期事業計画

- 1 地区ロータリー財団委員会との連携によるクラブ会員の理解促進
 - 1月22日(土) 社会奉仕・ロータリー財団合同セミナー(筑西市ダイヤモンドホール)にオンラインにより出席(委員長)
- 2 財団寄付 地区年度目標の達成
 - 年次基金寄付 130ドル、ポリオ基金寄付 20ドル計 150ドル/人をあたり1月中に送金予定
 - 恒久基金寄付(ベネファクター): 1000ドル/人
後期においても増員の予定
- 3 地区補助金申請

米山記念奨学会委員会

委員長 大久保 賢二
副委員長 瀬谷 利雄
委員 中村 澄夫

【前期事業報告】

1. ネパールからの留学生であるアリヤル・シュリーラム (奨学生)さんの世話クラブとして例会や行事に参加してもらいました。
2. 準世話クラブ(ひたちなか)には11月16日例会に参加してもらいました。
3. 10月の米山月間では地区米山選考委員の瀬戸隆海様(水海道RC)に卓話をお願いしました。
4. 4月の米山記念奨学会オリエンテーションは、海野カウンセラーは会場参加、大久保はZOOMで参加しました。
5. 8月8日の米山合同セミナーにZOOMで参加し米山記念奨学会事業の勉強をさせていただき、理解を深めることに努めました。

6. 特別寄付状況は以下のようになっています。

前半期予算：¥370,000 (¥20,000 × 37 人 × 前半期)

前半期実績：¥120,000 (32%)

【後期事業計画】

1. 特別寄付：年間 20,000 円／一人以上（分割寄付含め）の目標達成に向け更に寄付を呼び掛けます。
2. 引き続き、世話クラブとしてアリアル・シュリーラム（奨学生）さんの例会参加を計画しています。

会 計

会 計 佐藤 広道

副会計 海野 宏幸

前期事業報告及び後期事業計画

12月の年次総会に於いてご報告した内容をもって中間報告とさせていただきます。

後期も、新型コロナウイルスの市中感染が拡大する中、クラブ運営を進める会長・幹事の指示のもと、柔軟に、迅速に処理して参ります。

会場監督

会場監督 大森龍一

副会場監督 大越正彦

副会場監督 佐藤弘道

前期事業報告

会場監督は例会が秩序正しく、なおかつ楽しく、円滑に進むように努めてきました。

1. 例会のスムーズな司会進行に努めてきました。
2. コロナ禍で、ズームを使用し、例会を行いました。
3. 会場準備は、会場に早く入った会員に手伝っていただきました。
4. 会長、幹事、SAA は指定席とし以外の会員は番号札を引いた席としました。
5. 食事は、健康バランスと予算に合ったものとなりました。

後期事業計画

後期においても前期同様、例会が秩序正しく、なおかつ楽しく、円滑に進むように努めてまいります。

1月12日例会報告(第1571回)

◆ 幹事報告

報告者: 島田智和幹事



2022年1月12日(水)例会

- ・那珂市に35周年記念品として贈りました「無電源外灯付表示板」が那珂市市報に掲載されました。回覧しておりますのでご確認ください。
- ・新型コロナウイルスの第6波による感染が増えています。皆様お気をつけていただきますと共に、例会に関しましてはメールにてご連絡を入れますので注視願えればと思います。

◆ 出席報告

報告者: 海野宏幸委員長



会員数	出席免除者数	対象 会員数	出席者	欠席者	出席率 (%)
37	5 内出席2名	34	28	6	82.35

出席免除者(敬称略): 下線は例会 出席

清宮武雄、高橋 昭、中井英一郎、大部 泉、瀬谷利雄

◆ ニコニコボックス

報告者: 高橋昭ニコニコボックス委員



『よろこびの言葉』

◆ 伊藤幸司

水農インターアクトの皆様、本日はありがとうございます。活動報告楽しみです。

◆ 佐藤広道

誕生日のお祝い、ありがとうございました。今月で70歳になります。

◆ 高橋 琢

水戸農業高等学校 IA の皆様、ようこそ東海那珂 RC へ
皆様とは久しぶりの対面例会です。楽しんで下さい。

◆ 田中宏和

水戸農業高等学校インターアクトクラブの皆さん本日の発表を楽しみにしています。

◆ インターアクト年次大会報告報告

報告者: 高橋琢インターアクト委員長



・インターアクト報告者の紹介 水戸農業高等学校 檜山恵美子先生



・インターアクト発表



・弁論大会出場生徒による発表



・記念撮影(1)



・記念撮影(2)



◆ IM 開催について

・報告者: 鶴田哲男 IM 副実行委員長



浅川実行委員長、目黒副実行委員長に代わり、私から現在までの進捗状況についてご説明いたします。

- ・12月28日までに来賓・第2分区各クラブに、IMの案内を送りました。1月31日までに人数確定。
- ・プログラム作成中です。IM当日は、このプログラムに加え、講演者のプロフィール・レジュメを配布します。
- ・コロナの為、メールを中心とした打ち合わせで進めておりますが、皆様のより一層のご協力をお願いします。

・報告者: 伊藤幸司ガバナー補佐



2月11日のIM開始におきましては実行委員会の皆様を中心に準備頂き感謝いたします。感染拡大の状況を鑑み、1月8日に新井ガバナー主催によるIM開催についての緊急会議が有りました。各分区ともWeb使用でのハイブリッド開催、少人数での開催などを行うことで進めていますが、懇親会は全ての分区で行わないことの報告が有りました。第2分区としても日延べ順延も含め、実行委員、会長幹事様とも相談しながら進めさせていただきます。

別件です。本日は水農インターアクトクラブの活動報告を頂きました。コロナ禍で行動に制限がある中でも8つの事業を行い、其々に大きな成果を上げていることは第2分区としても喜ばしい事です。また、年次大会の開催、そして阿字ヶ浦海岸清掃にも積極的に参加して頂き心から感謝いたします。

情報掲示板 INFORMATION

東海那珂ロータリークラブから寄贈



▲左から先崎那珂市長、東海那珂ロータリークラブ石井会長、山田東海村長

12月5日に開催された、東海那珂ロータリークラブ創立35周年記念式典において、東海那珂ロータリークラブから無電源外灯付表示板1基を寄贈いただきました。

市では、12月20日に一の関ため池親水公園駐車場に設置し、横断歩道や歩道を夜間でも歩行者が安全に歩けるよう活用していきます。



▲設置された無電源外灯付表示板



▲明かりがついた無電源外灯付表示板

拡大写真



拡大写真



令和4年1月13日

会 合 報 告

石井 秀明

下記、会合に出席致しましたのでご報告致します。

会合名：東海村 「賀詞交歓会」

日時：令和4年1月6日 10:00～

場所：東海村産業・情報プラザ (アイヴィル)

出席者：石井秀明

内容：令和4年東海村賀詞交歓会へ参加して参りました。

令和4年1月14日

会 合 報 告

石井 秀明

下記、会合に出席致しましたのでご報告致します。

会合名：那珂市 「新年賀詞交歓会」

日時：令和4年1月14日 10:00～

場所：那珂市中央公民館

出席者：石井秀明

内容：令和4年那珂市新年賀詞交歓会へ参加して参りました。

2022年1月13日

会 合 報 告

東海那珂ロータリークラブ理事会 御中

伊藤 幸司

会合名：勝田ロータリークラブ第2266回例会

形式及び目的：他クラブ例会訪問（メイクアップ）

と き：2021年12月10日（金）12：30～13：30

と ころ：ひたちなか市「ホテルクリスタルパレス」

主催者：第2820地区 勝田ロータリークラブ

出席者（順不同、敬称略）：

伊藤幸司（2021-22年度ガバナ補佐）

高阪裕二（2021-22年度社会奉仕委員）

議 事：

- ① 点鐘
- ② ロータリーソング
- ③ ゲスト・ビジター紹介
- ④ 会員と夫人のお祝
- ⑤ 会食
- ⑥ 会長の時間
- ⑦ 会務報告（A 幹事報告、B 委員会報告、C ニコニコBOX）
- ⑧ 外部卓話 第2分区ガバナ補佐 伊藤幸司様
- ⑨ 出席報告
- ⑩ 点鐘

特 記：

外部卓話として伊藤ガバナ補佐より、東海那珂RC35周年記念事業への協力御礼、中村パストガバナによる私製出版本「東海那珂RC創立35周年を迎えて」の紹介、11月の海岸清掃奉仕活動成果の紹介等について、お話されて熱心に聴講頂いた。

以上

次回例会：2月2日（水）12：30～

職業奉仕委員会卓話

例会を欠席する時は、必ず前日12:00までに事務局まで連絡のこと

クラブ会報委員会：委員長 橋本和一郎／副委員長 厚見和則／委員 富永康修、大久保賢二